

2019年度 第3回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

「医工連携・産学連携による医療機器の開発事例と中国地域の研究シーズ・ニーズ」

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター 後援：一般社団法人中国経済連合会

【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2019年11月18日(月)、広島市の広島県民文化センター「サテライトキャンパスひろしま」において「2019年度 第3回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、ヘルスケア・医療福祉機器分野への新規参入や新製品・事業化につながる産学官の出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズ・ニーズを紹介するものです。

「医療機器」をテーマとする今回は、医工連携や産学連携、公的支援活用など医療機器開発における多様な事例を紹介すべく、「医工連携・産学連携による医療機器の開発事例と中国地域の研究シーズ・ニーズ」と題して開催しました。

講演1では大研医器(株)の小林 武治 氏から中国地域での事例も含めた医療機器開発における医療現場のニーズ探索や事業化プロセスについて、講演2では(株)村田製作所の伊佐 孝彦 氏から部品メーカーが医療機器業界に参入した経緯、開発事例および今後の展望についてご紹介いただきました。参加者からは、「医療機器のニーズ探索から開発・製品化のプロセスまで分かり易く説明いただき、大変参考になった」、「医療機器ビジネスへの参入のポイントがよく理解できた」といった声をいただきました。

研究シーズ・ニーズ発表では、広島国際大学の木藤 伸宏 教授から運動動作定量評価システムの開発について、岡山県立大学の森本 美智子 教授から改良型感染防護具の開発について、広島市立大学の常盤 達司 講師から配線レス熱電対内蔵凍結プローブの開発について紹介していただきました。

発表に関心を示された企業に対して、今後、マッチングに向けた事業化検討を進めて参ります。

【会場風景】



【日時・場所】

日時：2019年11月18日(月) 13:30～17:15

会場：広島県民文化センター「サテライトキャンパスひろしま」(広島市中区大手町 1-5-3)

【参加者】 62名

【プログラム】

- (1) 講演1 「医工連携・産学連携による医療機器開発事例～医療現場のニーズ探索と事業化プロセス」
大研医器株式会社 技術本部 開発部 薬事・知財課 課長
安全管理責任者 医療機器情報コミュニケーター(MDIC) 小林 武治 氏
- (2) 講演2 「部品メーカーが医療機器参入を実現した経緯、開発事例と今後の展望」
株式会社村田製作所 営業本部 日本営業統括部 医療機器販売部
シニアマネージャー 医療機器情報コミュニケーター(MDIC) 伊佐 孝彦 氏
- (3) 研究シーズ・ 「動画解析と床反力計測を組み合わせた障害予防のための運動動作
ニーズ発表1 定量評価システムの開発」
広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 教授 木藤 伸宏 氏
- (4) 研究シーズ・ 「輸入・新興感染症から医療従事者を守るための改良型感染防護具の開発」
ニーズ発表2 岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科 教授 森本 美智子 氏
- (5) 研究シーズ・ 「てんかん外科治療への応用を目指した配線レス熱電対内蔵凍結プローブの開発」
ニーズ発表3 広島市立大学大学院 情報科学研究科 医用情報科学専攻 講師 常盤 達司 氏



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.jka-cycle.jp/>